

おおざらいけ たかつかさかみいけ
大皿池・高司上池
たかつかさしもいけ
高司下池
菰萱池・助三門池
新開池・甲骨池

この地図では、浸水の深さを示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲
以外においても、被害が発生する可能性が
ありますので、注意が必要です。

3m
以上の浸水

2階以上が浸水する程度

0.5~3m
までの浸水

1階の軒下まで浸水する程度

0.5m
未満の浸水

床上浸水
床下浸水



 特に危険な区域
(ため池堤防)
 ひざ上(0.5m以上)が浸水
通行は危険
 ひざ下(0.5m未満)が浸水
通行には注意が必要

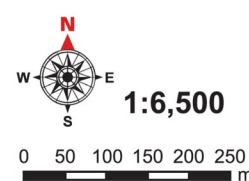
土砂災害(急傾斜地の崩壊)

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害危険箇所

土砂災害(土石流)

- 土砂災害警戒区域

- **指定緊急避難場所**
災害が発生するおそれがある時や災害発生時に、緊急的に避難し、身の安全を確保する場所
- **指定避難所**
災害発生時に、被災者が一定期間滞在することができる施設等
- **避難所(敷地)**
- **駐在所** **消防屯所**
- **防災行政無線(スピーカー)**

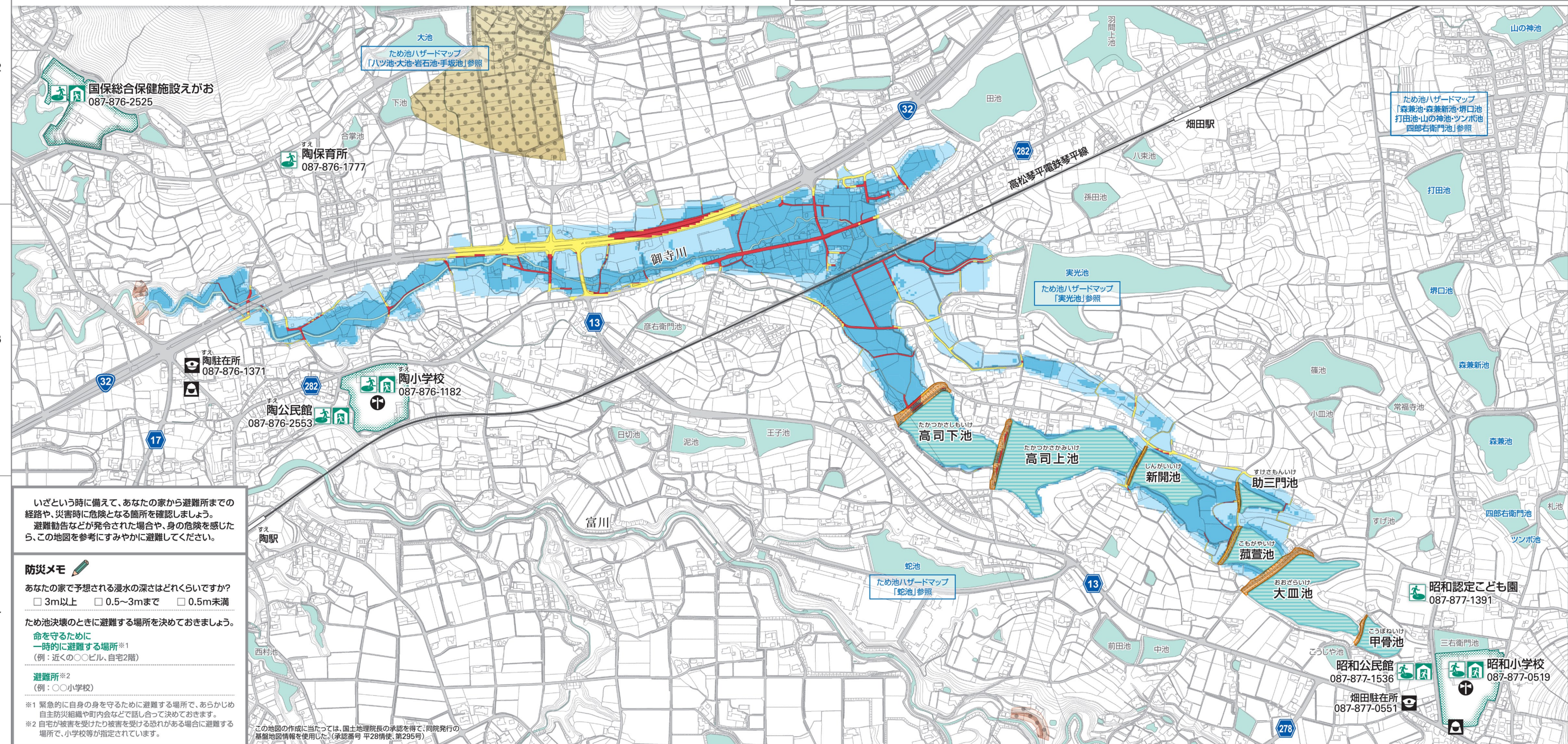
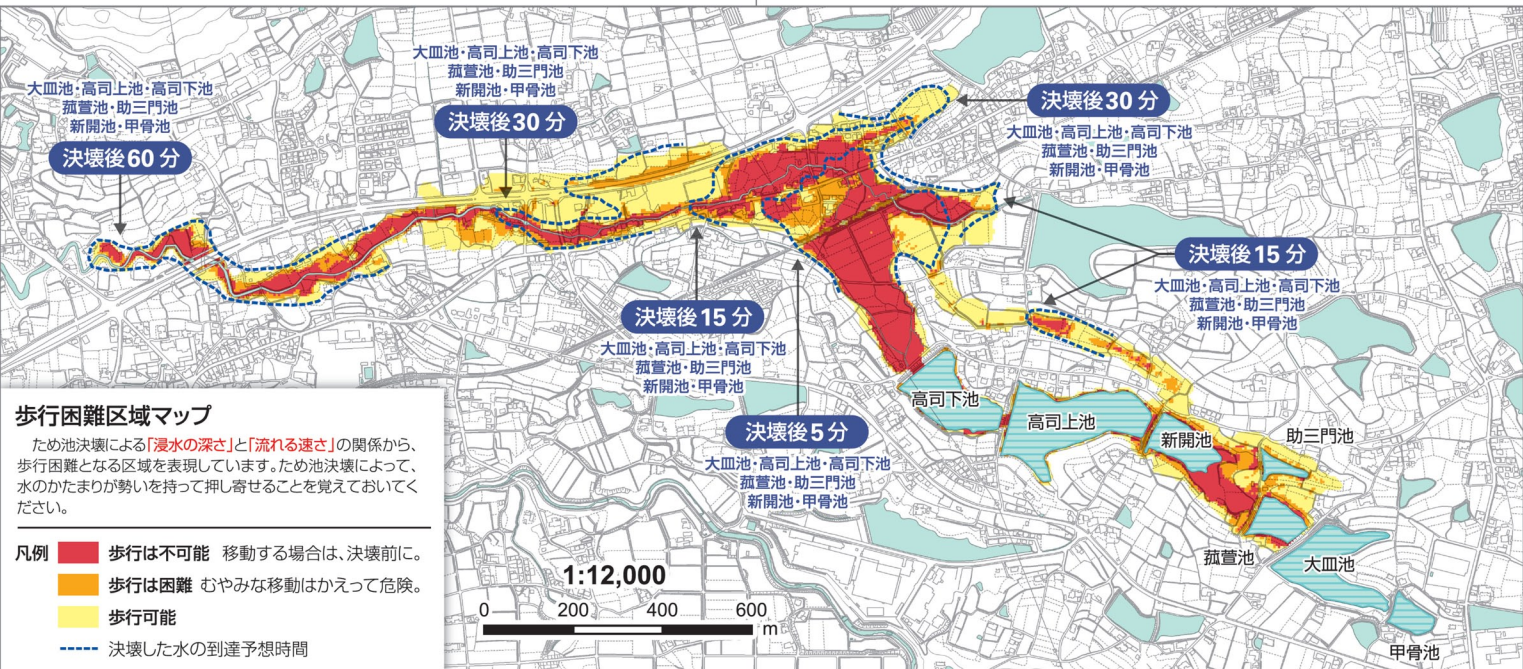


ため池決壊による「浸水の深さ」と「流れる速さ」の関係から、歩行困難となる区域を表現しています。ため池決壊によって、水のかたまりが勢いを持って押し寄せることを覚えておいてください。

凡例

- 歩行は不可能 移動する場合は、決壊前に。
- 歩行は困難 むやみな移動はかえって危険。
- 歩行可能

----- 決壊した水の到達予想時間



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の
基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第295号)



ため池ハザードマップ【保存版】

おおざらいけ たかつかさかみいけ たかつかさしもしいけ こもがやいけ すけさもんいけ しんがいいけ こうぼねいけ
大皿池・高司上池・高司下池・菰萱池・助三門池・新開池・甲骨池



●大皿池、高司上池、高司下池、菰萱池、助三門池、新開池、甲骨池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

●浸水の深さによって、避難方法は異なります。

- 浸水しない場所（避難所、道路、空き地など）
- 自宅の2階、危険のない近くの高い建物
- 自宅にとどまる

●いざという時の連絡先（TEL）

綾川町	防災担当	087-876-1906
警察	事件・事故の通報	110（局番なし）
消防	火事・救助・救急	119（局番なし）
災害用伝言ダイヤル	災害時の安否確認	171（局番なし）

●防災情報メール（登録無料）

→ <http://info.bousai-kagawa.jp/>
避難勧告などの情報が、登録しておくだけで携帯電話のメール等へ自動的に配信されるサービスです。これまでの「避難情報配信サービス」をリニューアルし、平成26年4月から「防災情報メール」の配信を始めました。避難情報配信サービスをご利用になられていた方も、改めて登録が必要です。

綾川町

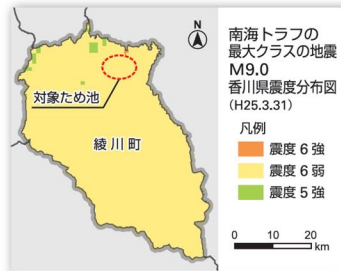
作成／平成 29 年 1 月 綾川町 経済課
〒761-2392 香川県綾歌郡綾川町滝宮 299 番地

ため池決壊について知ろう

ため池決壊の原因（地震と大雨）

地震

本マップの対象ため池周辺では、南海トラフの最大クラスの地震によって震度 6 弱の揺れが予測されています。また、地震列島である日本では、どこにおいても直下型地震が発生する可能性があります。



大雨

集中豪雨や長雨によって、ため池の水位が上昇することで、ため池決壊のおそれがあります。

ため池決壊の起こり方と、その被害

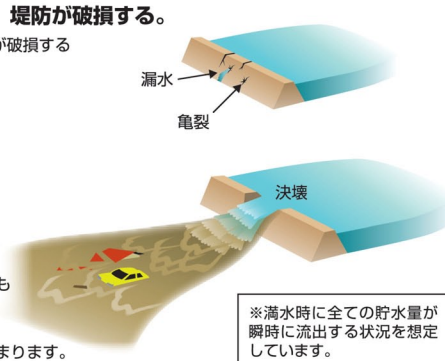
①南海地震や直下型地震で、堤防が破損する。

（地震同様に、大雨の際にも堤防が破損するおそれがあります。）

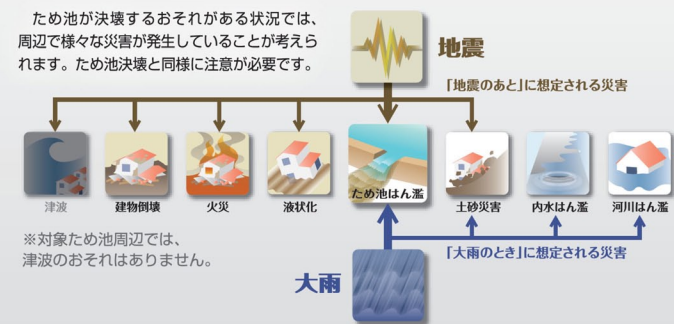
②破損した堤防が、貯水に耐え切れず「決壊」

③ため池決壊による被害

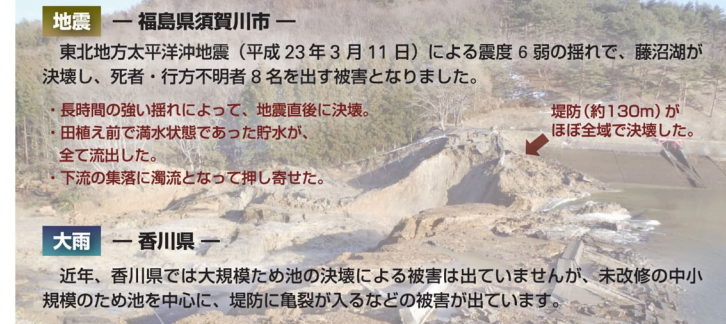
- ・大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- ・山津波、内陸部における津波とも呼ばれています。
- ・建物や車は押し流されます。
- ・道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害



災害事例

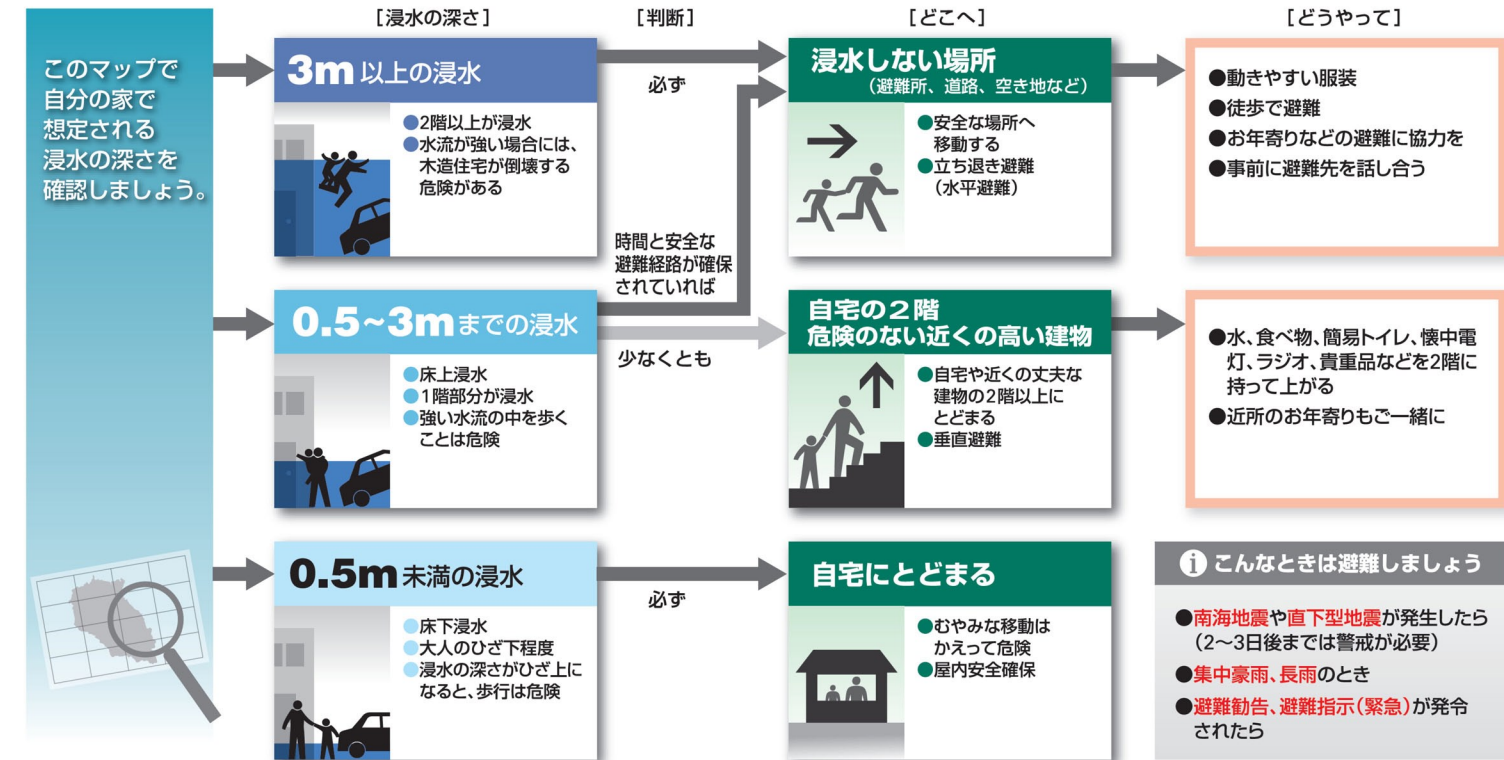


状況に応じた避難をしよう

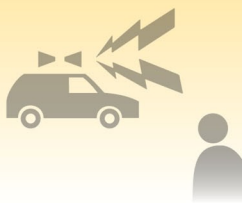


ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ 命を守るための基本行動

想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。いざというときに、どのように行動するのか、家族や地域で確認しましょう。



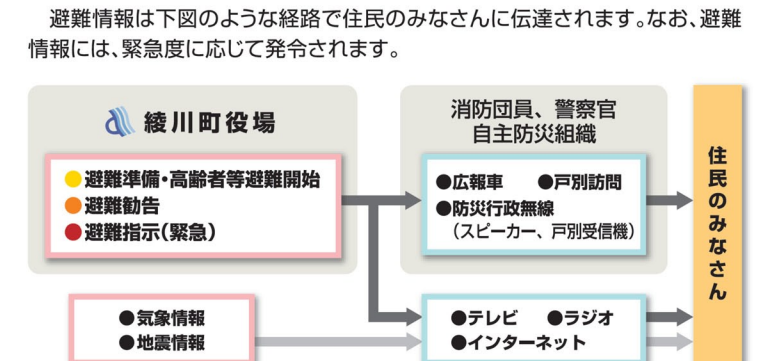
町からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう



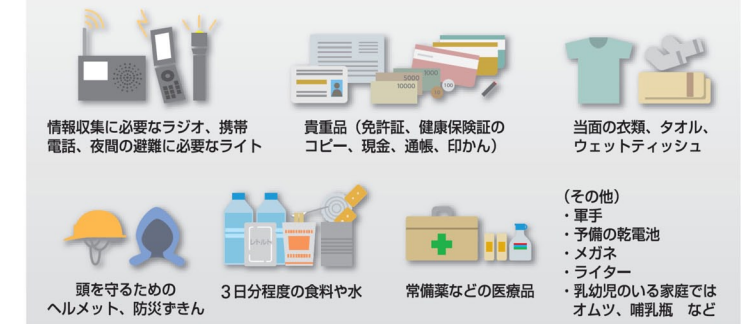
避難情報を入手するときの注意事項

- 地震のあと**
被災状況（防災行政無線の故障、広報車の通行不可、停電など）により、通常的手段を通じた情報の入手が困難になります。そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に自体に対応しましょう。
- 大雨のとき**
大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災行政無線や広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。テレビやラジオなどから自主的な情報収集を心がけましょう。

避難情報の伝達経路と内容



あらかじめ非常持出品を準備しましょう



避難情報の種類	呼びかけ（例）	みなさんのとるべき行動
●避難準備 高齢者等 避難開始	避難の準備をしてください。今後の情報に注意してください。体の不自由な人、高齢者の方は避難を始めてください。	●避難準備や情報収集をしてください。●必要に応じて自主避難をしてください。●避難に時間を要する方は、避難してください。
●避難勧告	〇〇地区に△△が発生するおそれがあります。避難を始めてください。	●身の安全を確保し、家族や近所で助け合いながら、あわてず、すみやかに避難してください。
●避難指示（緊急）	〇〇地区に△△が発生する危険があります。ただちに避難してください。	●すぐに避難してください。●既に危険が差し迫って避難が困難な場合は、自宅の2階や近くの高い建物へ避難してください。